

秘

日本銀行特別融通法ト財政政策

日本銀行特別融通法カ實施セラレルコトトナルト帝國財政ハ收入ニ於テ支出ニ於テ將々亦公債政策ニ於テ重大ナル影響ヲ受クルコトトナル。

本法、財政上ヨリ見タル實際運用ノ方法ハ大體震災手形ノ損失補償ニ於ケル方法ヲ踏襲スルコトトナツテ居ルカラ、其ノ結果トシテ

(一) 政府ハ毎半期毎ニ多額ノ制限外發行稅收入ヲ得之ハ當該年度ノ歲入トシテ受入レ一般財源トシテ立テラレ當該年度ノ財政計畫^{カ上テラレ}ハ其ノ收入ヲ將來生スヘキ損失補償關係ノ歲出財源トシテハ留保セラレナイノテアル、恰カモ震災手形割引ノ爲發行シタル兌換券ノ發行稅千餘萬圓ハ已ニ大正十二、十三、十四、昭和元年度間ニ消費シ盡シテ震災手形補償公債ノ償還

大藏省

(庫) 二四三〇

二二富井納

ニ、政府ハ毎半期毎ニ多額ノ制限外發行稅收入ヲ得之ハ當該年度ノ歲入トシテ受入レ一般財源トシテ立テラレ當該年度ノ財政計畫ハ其ノ收入ヲ將來生スヘキ損失補償關係ノ歲出財源トシテハ留保セラレナイノテアル、恰カモ震災手形割引ノ爲發行シタル兌換券ノ發行稅千餘萬圓ハ已ニ大正十二、十三、十四、昭和元年度間ニ消費シ盡シテ震災手形補償公債ノ償還

二、十三、十四、兩款、其間、二倍、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

投財袋へ銀行掛金
日本銀行掛金
日本銀行掛金

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

金庫
金庫
金庫

二二、三三

財源ニ供セラレナカツタ、換言スレバ其ノ負擔ヲ將來ノ國民ノ止ニ貽シ
 カト同一ノ事ヲ繰返ス譯テアル、震災手形ノ場合ハ割引ノ期間モ短ク割
 引額モ少ナカツタカラ、右ノ適否如何ニ拘ハラズ、財政上ノ問題トシテ比
 較的輕視シテ差支ヘナカツタカ今回ノ特別融通ノ場合ハ議會並國民ニ説
 明スル上ニモ補償額カ五億圓テアルカラ融通總額ハ頗ル莫大ニ上ホルト
 云フコトヲ前提トセネハナルマイシ又其ノ期間モ最長十年ニモ巨ル點カ
 ラ見テ、之カ爲ニ每期政府ノ收入ニ歸スル發行税ノ多額ニ上ルヘキコト
 ハ理論上當然首肯セネハナラス又事實ニ於テモ然リト思ハレルノテアル
 假ニ平均十億圓十年間ノ特別融通カ爲サレルトシタ場合ヲ豫想スルト發
 行税（假リニ制限外年六分トシテ）ノ收入ハ一年六千萬圓トナリ、十年
 間合計六億圓ノ巨額トナル譯テアル、此ノ多額ノ收入ハ畢竟特別融通法

大藏省

財政ノ支拂公債ノ云々
イキニ借金モスルハ同額モテ
此種ノ負債ニ對シテモ全額營業費ニ充當セシテ
對シテハ如何ナル對策ヲ講スヘキカト云フニ左ノ二策ノ内何レヲ實行スルヲ
適當ト思惟スル。

二二二 富井

ナ所作テアリ。又濫發ニ陥リ易イモノテアツテ決シテ健全ナル財政政策
トハ云ヘヌノテアル。大正十二年度以降（昭和二年度ハ豫定ノ分）交付
公債ノ發行額ハ別表ノ如ク五億六千七百餘萬圓ノ巨額ニ達シテ居ツテ、
如何ニ減債基金ヲ増加シテモ、大キナ抜道カアルカラ所期ノ目的ヲ達成
シ難イ然ルニ更ニ五億圓ノ現金支拂ニ代ヘテ交付公債ヲ發行スルトナル
ハ國債政策上由々敷大事テアル。

右ハ本特別融通法實施ニ關聯シテ財政上特ニ考慮スヘキ點テアラウト思フ
然ラハ如何ナル對策ヲ講スヘキカト云フニ左ノ二策ノ内何レヲ實行スルヲ
適當ト思惟スル。

第一策

本特別融通ノ爲發行シタル兌換券ノ發行税ノ毎年度收入相當金額（又ハ

然るに特種公債ノ発行ニ付テハ其ノ期限ハ当
 該年度内ニ課税徴收スヘキモノトスレハ會計法ノ例外トナリテ法律
 依リテ之カ延期ヲ爲スコトカ出來ルト云フ論モアル右ノ手續ノ問題ハ
 慎重講究シテ支障ナキ様取計フヘキテアル

二、延納期間中ニ於ケル利子ニ付テハ之ヲ免除スルヲ適當トスル、但シ本
 特別融通ノ存在セル期間ハ兌換券ノ膨脹ヲ見テ居ルトキテアルカラ強
 イテ利子ヲ徴スレハ日本銀行ハ運用ノ必要上兌換券ノ増發ヲ必要トス

律ニ規定ナク今日ハ大蔵大臣ノ達ニ依リテ定メラレテ居ルノテアル、
 故ニ本特別融通ノ爲ニ發行シタル制限外發行兌換券ノ發行税ニ付テハ
 大蔵大臣ノ達ニヨリテ特別ノ納期ヲ定メテ差支ヘナキモノトモ一應考
 ヘラルルノテアル。尤モ會計法ノ立場ヨリ納税義務ノ確定シタル時ハ
 當該年度内ニ課税徴收スヘキモノトスレハ會計法ノ例外トナリテ法律
 ノ規定ヲ必要トスルカ如キ論モアリ得ルノテアル、或ハ勅令ノ規定ニ
 依リテ之カ延期ヲ爲スコトカ出來ルト云フ論モアル右ノ手續ノ問題ハ
 慎重講究シテ支障ナキ様取計フヘキテアル

二、延納期間中ニ於ケル利子ニ付テハ之ヲ免除スルヲ適當トスル、但シ本
 特別融通ノ存在セル期間ハ兌換券ノ膨脹ヲ見テ居ルトキテアルカラ強
 イテ利子ヲ徴スレハ日本銀行ハ運用ノ必要上兌換券ノ増發ヲ必要トス

昭和二十一年

新規公債發行額

債 二、四三〇

計	昭和 元	一五	一四	一三	一二	大正 一二	年度	發行 總 額	內 募 集 ノ 分	交 付 ノ 分	兩者ノ割合%	
											(豫定) 二	募 集 ノ 分
一、二七三、七七四、五六六	四六三、九〇七、六二二	二二三、五八九、一二五	一五七、四九二、七五〇	三一七、〇七五、三〇九	一二一、七〇九、七六〇	一三一、七〇九、七六〇	年度	發行 總 額	內 募 集 ノ 分	交 付 ノ 分	募 集 ノ 分	交 付 ノ 分
七〇六、一八二、一九四	一五〇、〇〇〇、〇〇〇	九七、〇〇〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇、〇〇〇	二九〇、〇七〇、二八四	七九、一一一、九一〇	七九、一一一、九一〇	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分
五六七、五九二、三七二	三一三、九〇七、六二二	一二六、五八九、一二五	六七、四九二、七五〇	二七、〇〇五、〇二五	四二、五九七、八五〇	四二、五九七、八五〇	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分
五五	三二	四五	五七	九一	六五	六五	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分	募 集 ノ 分
四五	六八	五五	四三	九	三五	三五	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分	交 付 ノ 分